



今日の It's wonderful！「困難を乗り越える」令和6年3月1日（金）

最近新しく聞いた言葉に「レジリエンス」があります。意味は「困難を乗り越え、回復する力」とのこと。この日の生徒集会の直前は、まさにその力が発揮されていました。

左の写真がそのシーンです。発表スライドにトラブルがあり、画像やデータが見当たらない！（どうしよう?!）という状況から、その場で作り直しているところです。そして、開会に間に合わせ、何事もなかったかのように生徒集会を進めていました。まさにレジリエンス！見事でした。

左の写真は、打ち合わせをしたり、原稿の最終確認をしているところです。このような裏方の仕事を積み重ねると人間に厚みが出てきます。「生徒たちにどんどん仕事を任せていきましょう」と先生たちとも話しています。任せられる生徒になってきている彼らに今後も期待が膨らみます。がんばっていきましょう！

集会での所作もこなれてきて、内容も充実してきました。3月の執行部から提示された目標は、「感謝の気持ちを伝えよう」です。3年生の卒業へ向けて、いろいろな取組が行われていくと思いますので、これからもお伝えしていきたいと思います。

今回は、左の写真のように取材した写真もスライドに載せてありました。タブレットの使い方も上達しています。



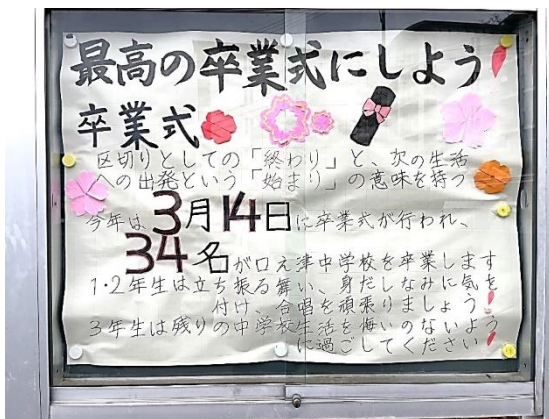
左の写真もタブレットを活用しているところをタブレットを使って取材していました。今度、英単語のテストをタブレット（「モノグサ」というアプリ）を使って行います。新しい時代を切り拓くために、このような取組をもっともっと充実させていきたいですね。



こちらは、生徒からアンケート（メディアコントロール関係）を取ってデータを加工し、グラフに表して分かりやすく発表しているところです。このような工夫や技が実際の活動の中でできるようになっていることに感心しています。素晴らしい！



本日のオールキャストです。お疲れさん。



今日の It's wonderful ! 「メッセージ」令和6年3月5日（火）

学校の門を通り抜けたところにある掲示板に、以下のメッセージがあります。3年生の卒業まで、あと数日となりました。明日からは県立学校の高校入試もあります。一日一日を大切に刻んでいってほしいと心から願っています。



今日の It's wonderful ! 「高校入試」令和6年3月6日(水)

今日と明日、公立高校後期入試が行われます。朝から会場へ向かう生徒たちを見送りに行ってきました。「受験票あったかな？」とバッグの中のファイルを開いて「あった！」と確認したり、「えんぴつに書いてある文字はダメって言われんかな」など話していましたが、全体的にはリラックスしていたようでした。アドバイスとしては、「とにかく解答欄を（分からなくても）全部埋める！」ということをお伝えしました。がんばれ受験生！

左は、担当の加藤先生がグータッチで気合いを注入している様子です。



時間が来て、生徒たちは高校の先生方に案内されて会場へ入って行きました。新しい未来への道の第一歩です。今まで頑張ってきたことをしっかり書き込んできてね！ふぁいと！



今日の It's wonderful ! 「自分の研究テーマを決める会」令和6年3月5日(火)

この日、口加高校と佐世保高専の高校生を講師に招いて、「研究テーマ設定会」というのをしました。口加高校からはグローバルコース1・2年生の全員（ただし1名は、学会での発表がある（！）とのことで、そちらを優先して不参加）、佐世保高専からは本校の卒業生が2名ということで、総勢37名の講師による手厚いサポートを受けることができました。

最初は、「なぜ、個別に研究テーマを決めるのか」ということや「なぜ、ふるさと（口之津や南島原）に着目するのか」というところを説明して、そのあと「研究計画書の書き方」を説明しました。

そのあとは、高校生に支援（指導）を「お任せ」して、たっぷり時間をかけて計画書を記入して行きました。





中学生の人数が少ないので、ほとんどマンツーマンで指導してもらいました。ほんとうにありがたいことです。



高校には「探求の時間」があり、高校生は研究テーマを掲げて取り組んでいますので、いろんな角度からアドバイスをしてくれていました。ただ・・・、みんな心が優しいので、ガツンとは言えないみたいで、なかなか伝わらない場面もあったようでした。



そこで、高校の担当の先生が「集合」をかけられて、高校生にアドバイスをしてくださいました。このあとの高校生のサポートがどんどん積極的になっていって、ほんとうにありがたいことだなあと思いました。「高校生にとっても、とてもいい機会をいただいた」と言われたので嬉しかったです。

今回は、市教委からも2人の指導主事が参観され、左の写真のように、アドバイスに入ってくださいました。感謝。



下は、中学生が本校の卒業生（佐世保高専の2人）を取り囲んで話を聞いている様子です。高校生の生の話を聞いたのも、この会の良かったところかなと思っています。



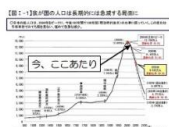


「人口が減る」というピンチを 乗り越える力をつける！

1 **まずは、「現実」を受け止める。**
日本の人口は確実に減っていくのだ
ということを前提にものごとを考える。

- 〈あと50年くらいで〉
- ・日本全体の人口…約半分
- ・南島原市の人口…約3分の1

一方、世界の人口は、これからも増える。
(ただし、中国と韓国は除く)



本県の市町別生産年齢人口

(上から2050年までの減少率が低い順)

市町	1950年	2050年	指数
大村市	56,017	42,723	76.3
佐々市	7,662	5,469	70.6
瑞穂市	16,935	10,257	60.6
佐佐木市	133,796	80,939	60.5
波佐見町	7,706	4,584	59.5
長崎市	228,336	133,555	58.5
諫早市	75,018	42,850	57.1
美津町	23,725	12,844	52.0
島原市	22,297	11,442	51.3
川棚町	7,228	3,576	49.5
雲仙市	21,493	9,707	45.2
壱岐市	12,076	5,371	44.5
松浦市	10,732	4,607	42.9
西海市	13,246	5,366	40.5
平戸市	13,817	5,558	40.2
五島市	16,723	6,668	39.8
東彼杵町	3,867	1,536	39.7
対馬市	14,191	5,368	37.8
小値賀町	930	341	36.7
南島原市	20,479	7,213	35.2
壱志野町	8,452	2,211	26.2

※指数は、2050年の15～64歳人口を100としたときの50年の数値
(国勢調査資料・国土情報研究所の推計による)

令和6年2月12日 長崎新聞

2 **考え方を変える。**
変化の時代には、意識改革が大事。

- ・「人が減れば、チャンスや分け前が増える」と考える。
→機械やパソコンを使って効率よく仕事をしよう！
- ・「外国人と仕事をやる」ことを前提にものごとを考える。
→海外の歴史や文化、世界の動きをもっと知ろう！
- ・「持っている強みや有利」を生かす。
→ふるさと（口之津・南島原・長崎）の魅力や可能性を知ろう！

3 **今からできることを始める。**

- ・仕事をもっと効率化しよう。
- ・だらだらと時間を使うのをやめよう。
- ・もっと自主的、計画的に学習しよう。
- ・資格試験や体験活動に積極的に参加しよう。



今日の It's wonderful ! 「公立高校後期入試2日目」 令和6年3月7日(木)

昨日とは打って変わって雲一つない青空のもと、朝日を背に受け、受験生たちは(いつものように明るく)会場に入っていました。昨日の出題内容を見ると、かなり「思考力」や「読解力」が問われる問題の割合が増えていたように思います。受験を終えた後、ぜひ後輩たちに受験勉強の要点や教訓などを伝えてほしいなあと思いました。その前に最終日、全てを出してがんばってほしいと願って送り出した2日目、最終日の朝でした。

今日の It's wonderful ! 「掃除機設置！」令和6年3月6日(水)

コードレス掃除機を各学級(前の廊下)に設置しました。なぜ掃除機か?ということについては、先日の生徒集会で時間をとって説明しました。そのときの配布プリントが左になります。

学校での掃除は、基本的には帚とちりとり、雑巾で行います。これは明治以来、100年間変わっていません。これからの彼らは強烈な人口減少の中で仕事をこなし、生き抜いていかなければならない……。こんな危機感を背景にした掃除機設置です。

なので、設置作業から彼らに任せました(左の写真)。最初は戸惑っていましたが、みんなで話し合いながらいい雰囲気で作成させていました。見ていておもしろかったのが、説明書を見る派と見ない派、包装のガムテープを道具を使って切る派と力づくで破る派など、大人といっしょでいろいろいるなあ～と感じました。一つ言えるのは、生活経験が豊かな生徒の作業はてきぱきしていたということでした。これからもどんどん任せていきたいと思っています。

さっそく、左の写真のように活用していました。使い心地を聞いてみると「これ、楽です!」とのこと。働き盛りになる頃、生産年齢人口が3分の1になる彼らです。一人でごみを今までの3倍集めることができたらOK!という感じでいきたいと思っています。



普段はこのような感じで、いつでも誰でも使えるようにしています。先日の集会では、ゴミに気付いた生徒がサッと掃除機を使ってきれいにしてくれたら嬉しいという話をしました。ただし、稼働時間は10分くらいで充電が必要なこと、乱暴に扱うと壊れることなど、これからの社会では機械をうまく使うことが必要だということをお話しました。

目標は「掃除の時間がなくてもきれいな学校」です。それが実現できたら、毎日の掃除の時間を他のことに活用できるよね！と生徒たちに話をしました。これからが楽しみです。（カリスマ体育教師と言われた原田隆史さんが勤務されていた大阪市立松虫中学校ではそれが実現されていました。）



今日の It's wonderful ! 「授業の様子」令和6年3月6日（水）

さて、世の中は高校入試ですが、普段の授業も進んでいます。

1年生の美術の授業では、本年度最後の作品として切り絵をしています。そろそろ完成というところで、校内に掲示されます。御来校の折には、どうぞ御覧ください。



2年生の国語は、「人物についての作文を完成させよう」というめあてで、作文をパソコンを使って下書きをし、次の日に聖書、そのまた次の日に発表会というタイトなスケジュールで学習を進めていました。ですので、みんな真剣な表情でした。がんばれー！



左は、3年生のすでに入試を終えた生徒たちが、音楽の授業で卒業式の式歌を練習している様子です。歌の歌詞がすばらしくて、卒業を迎える生徒たちにとっては、心にグッとくる内容でした。そのために、すでに涙目になっている生徒もいて、感動の卒業式になるだろうなあと思った音楽の授業でした。



今日の It's wonderful ! 「最後の調理実習」令和6年3月11日(月)

3年は、「最後の」というものが続いています。今日は調理実習でした。いろいろなお菓子を作っていました。が、「ピザなのにチーズを忘れた！」という班もあって、ドンマイ！という感じでした。



今日の It's wonderful ! 「美術の評価」令和6年3月11日(月)

先日からお伝えしていた1年生美術の作品(切り絵)が出来上がりました。そこでさっそく展示していただきました。

そこで、「どんな所を評価するんですか」と担当の小淵先生にお聞きしたところ、次のように説明していただきました。

この作品は、「空間の使い方がいい」とのこと。それぞれのバランスを取って蝶を舞わせているいい作品です。

下は、「大きな切り絵と小さな切り絵を重ねて、いい味を出している」とのこと。重ね方もいい感じです。



左は、「台紙からはみ出させて広がりを持たせているところがいい」とのこと。既定の枠を飛び出すというのは、芸術の世界では評価されますね。(難しい部分もありますが・・・)



最後に、この作品は、解説を受けて「なるほど！」と感心した作品です。上部中央の円形は、半円ではなく、この台紙の裏側に続いているのだとか。この作者（生徒）は、人が見ない世界へと誘おうとしていると思いました。スティーブ・ジョブズは、外からは見えないパソコンの箱の中側も美しく仕上げると聞いたことがあります。それにつながる話だなあと感じました。すばらしい！



今日の It's wonderful ! 「お琴の授業」令和6年3月7日（木）

この日の1年生音楽の授業はお琴を弾いていました。「さくら」を数回の練習で弾けるようになったとのこと。若い子の習得はほんとうに早い！（年をとると時間がかかる・・・）だから、何でも挑戦していこうね！



男子もごらんのとおり、上手に弾いていました。男子は力が強いのか、よく響いていました。



今日の It's wonderful ! 「あれから13年」令和6年3月11日（月）

この日、東日本大震災から13年目を迎えました。学校では半旗を掲げ、黙祷をし、犠牲になられた方々や今でも大変な状況にあられている方々を悼みました。今年は能登半島の震災が起き、南海トラフ地震や首都直下型地震は、いつあってもおかしくないと言われています。ニュースの向こうを他人事と思わず、想いを寄せ、備えをしっかりとしていきたいと思います。



今日の It's wonderful ! 「パソコンを使ったテスト」 令和6年3月11日(月)

この日、普段から取り組んでいる「モノグサ(暗記アプリ)」の成果を試すテストを行いました。真剣です!



この暗記アプリは、普段取り組んでいるときから「あなたの記憶度は今〇%です」と出ますので、テストの前から点数が出るような仕組みになっています。それから、何回取り組んでいるかとか、どんな教科に取り組んだかなどが数字で出て、教師側も確認できるようになっていますので、「よくがんばってるね!」と言葉をかけることができます。さて、テストの結果やいかに?!



今日の It's wonderful ! 「開拓者魂」令和6年3月11日(月)

この日の1年生は、技術の時間に学校園を整備しました。ご覧のような雑草だらけでしたので、開拓者魂が必要でした。これから何を植えるか?なんて聞けるような段階ではありませんでした・・・。もう少したってから聞こうと思います。1年生のみんな、おつかれさん。



今日の It's wonderful ! 「式を迎える準備」令和6年3月12日(火)

卒業식을14日に控え、学校では式場を整備し、校内に来賓や保護者を迎える準備をしています。

左の写真は、椅子をメジャーを張って正確に並べている様子です。この座席の位置は、卒業生の動線や来賓と主催者の位置関係など、いろいろな要素がからんで、結構難しいのです。



左は、紅白の幕を張っている様子です。1年に2回（卒業式と入学式）しかこの作業をしませんので、ほとんどが手探りの作業です。この生徒たちは2年生なので、来年度はしません。いわゆる中学校生活最後の作業です。がんばれ！



次は、椅子のカバーを張っている様子です。ていねいな作業をしていました。ふと、気づいたことですが、なぜか知らねど、このような作業は女子が行うようになります。不思議なものです。



これ、生徒会長です。素早い動きにカメラがついていけず、ぶれてしまいました。がんばってます！



出番を待つ看板です。このあと、ステージ中央に掲げられました。この前で卒業生たちは証書を受け取ります。いい式になりますように。



この生徒たちは、渡り廊下のカーペットのほこりをガムテープで吸着してきれいにしていました。このような光景は初めて見ました。いい仕事をしてますね～。



校舎内の廊下もこのように磨き上げました。お疲れ様です。



玄関もこのとおりです。みんなで来賓・保護者のお迎え、そして、卒業生は最後はこの玄関を通り、在校生たちの花道を抜けて学校を去ります。だから、心を込めてきれいにしました。当日は、どうぞよろしくお願いします。



さて、主役の3年生。左は、最後の歌の練習です。涙なしに歌えるのはこれで最後かもしれません。明日は、思いっきり泣いてもいいからね。心を込めて思い残すことなく卒業式に向かおう。



今日の It's wonderful ! 「巣立ち」令和6年3月14日 (木)

やさしい春の日差しの中、本校77回目となる卒業式を終えて、34名の3年生がみんなで巣立っていきました。その様子をご覧ください。

左は、受付をする生徒会役員の生徒たちです。ちょうど、小学校の校長先生が来られて、成長した姿をお見せすることができました。



入場し、緊張の中、今までの中学校生活が走馬灯のように思い浮かんでいる(と思う)卒業生の様子です。これは予行演習ではなく、本番の本当に最後の姿です。



在校生代表として「送る言葉」を述べたのは、本田さんでした。3年生との思い出や感謝の気持ちを伝えていました。先輩たちの姿は大きかったと思います。その背中を追って、次は君たちががんばる番です。応援していくよ！



卒業生代表として大野君が「門出の言葉」を述べました。入学してからの3年間の思い出や仲間たちのこと、その仲間たちに支えられてここまで来れたこと、そして、後輩たちへの期待と思いなどを涙ながらに語りました。彼らは私から見ても、ほんとうによくがんばってきたと思います。いろいろな感動をありがとう！



在校生から送る式歌は「絆」です。今までで一番いい歌声で歌い上げていました。歌詞には「君と僕の大切な絆、いつまでも切れないように、ずっとずっと守り抜こう」とあります。このような関係を紡ぎ合っていてくれたらと心から願いました。



卒業生が歌った式歌は「あなたへ 旅立ちに寄せるメッセージ」でした。人生のさまざまな場面、それを迷路に例えて「喜び」と「悲しみ」、「憎しみ」と「悲しみ」という言葉を紡いだ歌詞は、最後には「愛と涙、あなたの手の温もり、人生という名の迷路の果てに信じあえる喜びと悲しみを知った分、優しくなれる」というフレーズで終わります。仲間を大事にしてきた彼らですので、よりいっそうこの歌詞が心に響いたのではないのでしょうか。いい歌声でした。



式が終わり、学級では、証書を改めて手渡してもらい、一言ずつ感想や想いを述べました。新年度には、違う道（高校）を歩む生徒たちです。遠くに行く生徒ほど、感極まっていました。みんな、元気でね！



この写真、窓の向こうは口之津港ですが、ちょうどフェリーが出航していきました。こんな偶然もあるんだなあと思いながら、シャッターを切りました。いい旅立ちになりました。



見送りでは、吹奏楽部が演奏をしてくれました。ありがとう。



今年は、花道を飾るアーチを生徒たちが作りました。春の青空に色とりどりのアーチが映えて、卒業生たちも嬉しそうでした。



最後は、みんなで記念撮影です。みんないい笑顔をしていました。人生の区切り、初めて仲間がバラバラになる門出です。次に集まるのは成人式かな？ そのときにはたくさん話ができるよう、みんないろんなことにチャレンジしていこうね。活躍を期待してるよ！



左は、主が巣立った3年生の教室です。ガラんとした空間に春の日差しが優しく差し込んでいました。次の生徒たち（今の2年生）を迎えるのは4月8日（月）です。それまでしばらく、静かな時間が流れます。みなさん、お疲れさまでした。



今日の It's wonderful ! 「校長面談 (本年度の) 最終回」令和6年3月21日 (木)

日程が合わなくてなかなか計画どおりにはできなかった1年生の最終回は、集団面接形式で行いました。方法は、高校入試のやり方そのまま!に行いました。入室や退室、座り方、発表の仕方などをまず教え、「中学校のときの一番の思い出を教えてください。」とか「高校で一番やりたいことは何ですか」「将来の夢や目標を教えてください」と進みました。2年後はこのような形で受験していきます。生徒たちからは「いい経験になりました!」と言ってくれました。これからもっと話せるよう経験を積んでいこうね!



今日の It's wonderful ! 「令和5年度、修了」令和6年3月22日 (金)

午前中、修了式を行いました。令和5年度を修了です。代表生徒として、1年生から永田さん、2年生から永吉さんが、この一年間を振り返り、来年度の抱負を述べました。来年度(来月!)は、最高学年と2年生になり、新しい後輩が入ってきますので「格の違いを見せつける」ように、がんばってほしいと願っています。

来年度の一つのテーマは「主体性」です。そのことにちなんでキーワードを伝えました。「見る目、感じる心、動く手足」です。しっかり育てていきたいと思っています。



今日の It's wonderful ! 「離任式」令和6年3月22日 (金)

本年度は、7名の先生方とのお別れとなりました(多い!(>_<)、左の写真中の6名と他校と兼ねておられたもう1名です)。別れは辛いですが、出会いの始まりとも言いますので、そのことを胸に、手を振って見送りたいと思います。



お一人お一人からお別れの言葉と、「誰かのために行動すること」「努力を続けること」など、生徒たちへのエールをいただきました。これらを胸にがんばっていきたいと思います。



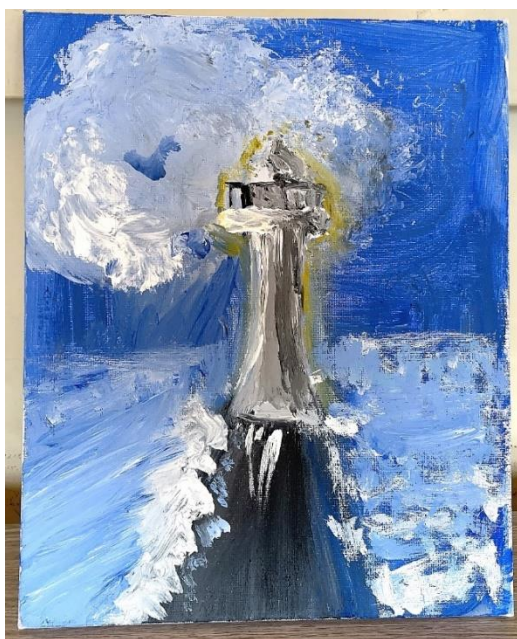
最後には、生徒会の役員たちからお別れの言葉があり、花束を贈りました。みなさん、ありがとうございました。



最後には、本年度、生徒会で作った花のアーチを通して会場を後に去って行かれました。花道の出口では、来てくれていた3年生（卒業生）が最後の別れの言葉を伝え合っていました。いい生徒たちです。

しばらくは、ぽっかりと心に穴が開いたような気持ちになると思いますが、思い出に浸りながら、そのような時間も大切に過ごしたいと思います。

みなさん、新しい地でもお元気で！ありがとうございました。



今日の It's wonderful ! 「来年度の楽しみ」 令和6年3月25日（月）

左の絵は、ある生徒が、「ふるさと学の個人研究テーマ」に基づく発表の方法として「絵にしたいのですが」と、私に見せてくれた「試作品」です。なんと！彼女はこれを一晩で仕上げたということでした！こんな才能を持っている生徒がいる！ということを発見して、滅茶苦茶に嬉しかったので載せました。

ふるさと学の研究発表会は、令和6年度の10月です。生徒たちの個性豊かな、そしてふるさとへの想いの詰まった研究発表をどうぞご期待ください。

令和5年度の終わりに

令和5年度の授業や行事がすべて終わりました。本年度は、コロナが通常の感染症に認定されて、いろんなことが“ふつう”に行えるようになった年度でした…が、コロナ前の学校を知るものとしては、子どもたちの表情が、マスクをしなかった頃に比べて薄いような感じがしています。人は、子どもの頃の感動や感謝、感激などの経験によって心の豊かさがはぐくまれると言われていいますので、私たちはもっともっと、これまでの分も割り増しして、彼らの心を引き出し、伸ばしていかなければならないと考えているところです。

そこで、来年度、令和6年度の学校経営の柱は、「生徒たちの主体性を伸ばす」としています。今まで私たち教師（大人）は、子どもたちが失敗しないよう、スムーズに行えるようにいろんなことを“お膳立て”して、「よくできましたねー」と、ほめて終わることを良しとしてきたように思います。しかし、これでは大きな変化の中にある未来を生き抜く主体性は育たないと思います。もっと彼らにいろんなことを考えさせ、任せて、体験させ、失敗を繰り返しながら人間力を高めていきたいと考えています。様々な活動のその一歩を踏み出す時の、まずは「誰がやるのか」ということを問い、「それは私だ」という自覚をもって、自分の道を歩むことができるようにしていきたいと思います。

修了式の中で、生徒たちに、主体性を構成する3つのキーワードを伝えました。

『見る目』、『感じる心』、『動く手足』

まず、人の動きや表情、物事（世の中）の動きなど、周りの様子をよく見る（見抜く）こと。次に、人の喜怒哀楽を自分事として感じる感受性、必要とされていることや求められていることを感じ取る感覚、未来のために今やらなければならないことを貫徹する精神、そして、善悪の区別。これらの感度を高めることが大切です。最後に行動。どんなに思っている、考えていても、実行を伴わなければ、成長も進化も発展もありません。「失敗してもやりなおせばいい」という経験を早く積ませて、勇気をもってチャレンジできる環境を整え、令和6年度、この3つをキーワードに彼らと共に進んでいきたいと思います。

本年度の「ワンダフル集」はこれで終わりです。来年度もいろいろと工夫しながら、生徒たちの活躍の様子をお伝えしていきたいと思います。

御愛読、まことにありがとうございました。

〇之津中学校 校長 大嶋博之